科目	現代文B	単位数	2	週時間数	2	年次・コース・組	3年次・探究コース・5組
使用教科書 副教材等	東京書籍『精選現代文B』・『学習課題ノート』 桐原書店『読解を深める現代文単語』・文英堂『現代文単語ノート』 駿台文庫『基礎編現代文読解問題』ほか演習テキスト 第一学習社『意味から学ぶ頻出漢字3000』・『新国語便覧』・国語辞典						

① 学習の到達目標

- 近代以降の文章を題材として、大学進学などの進路実現に向け、受験生としてふさわしい学習の方法を理解し、**主体的な学習**を継続して実践する。
- 主体的に学習する態度を土台として、現代文における**基礎的な知識・技能**を身につける。
また、知識・技能を活用して、**国語を的確に理解し、適切に表現する力**を身につけ、これらを活用し、高めていく。
- 国語を的確に理解し、適切に表現する力を土台として、**ものの見方・感じ方・考え方を豊かにし、自分の考えの形成に役立てる力**を養う。

② 評価の観点、方法

【関心・意欲・態度】授業や家庭学習に主体的に取り組もうとするとともに、生涯にわたって国語に親しむ態度を育もうとしている。
 【話す・聞く能力】他者と伝え合う多様な「話す・聞く」言語活動を通して、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにし、自分の考えを深めることができる。
 【書く能力】他者と伝え合う多様な「書く」言語活動を通して、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにし、自分の考えを深めることができる。
 【読む能力】さまざまな文章に関する多様な「読む」言語活動を通して、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにすることができる。
 【知識・理解】生涯にわたって国語に親しむために必要な漢字や語彙、教養としての文学史などを理解している。

※ これらの評価は、観察・試験・ノート・ワークシート・自己評価(振り返り)などの多様な方法によって総合的に行う。
また、個別に自らの課題を設定し取り組んだ学習の成果を添削し、学習の過程や成果を評価し、全体の評価に加える。

③ 担当者から

・現代文は「授業」が勝負です。意味を説明できない言葉は、すぐに辞書を引きましょう。
 授業中の問いかけは、全て自分自身に対するものだと考えて、頭を動かし、手を動かして下さい。「答え待ち人間」に未来はありません。自分自身の頭で答えを導き出す、その過程が大切です。最初は自分で答えを導き出せなくとも、「どうしてこの答えになるのか」という検証を重ねていきましょう。もちろん、ペアやグループで話し合う場面もあります。頭、手、口をフルに使っていきましょう。そして、言葉との出会いは、いつだって一期一会です。気になった言葉は、すぐに辞書を引いて確認し、語彙を増やしていきましょう。言葉との出会いを大切にしてきた人だけが、入試現代文を攻略できるのです。
 ・「ノート」は自分や仲間、クラスの思考の過程を記録する大切な道具です。
 板書を書き写すだけでは意味がありません。先生や仲間の発言や気づきで大切だと思ったことを記録したり、自分が知らなかった言葉の意味をまとめたりして、自分だけのノートを作っていきます。分からないことはその場で、もしくは授業後にノートを持参して質問しに来て下さい。

※ 前期反省

※ 年間反省

※ 次年度に向けて

④ 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業予定 時数	授業 実施 時数
4	評論Ⅰ	丸山圭三郎「言語と記号」	・本文の話題に対して関心を持ち、筆者の考えを理解する。 ・論理的な文章の基本的な読み方を習得し、活用する。 ・生涯にわたってものの見方・感じ方・考え方を豊かにしていく態度を養う。	前期中間Ⅰまで	
	演習	記述問題演習① 個別添削	・演習を通して、総合的な読解力を高める。 ・ <u>添削指導を通して、記述力を高めるとともに、苦手分野を克服する。</u>	予定 9	9
5	小説Ⅰ	梶井基次郎「檸檬」(前半) 〈 前期中間試験Ⅰ 〉	・文学的な文章の基本的な読み方を習得し、活用する。 ・特徴的な表現とその効果を理解することで、読みとりを深める。 ・心情の変化をとらえることで、主題についての考えを深める。 ・生涯にわたって文学に親しむために必要な、教養としての文学史を理解する。	実施	0
		梶井基次郎「檸檬」(後半)		前期中間Ⅱまで	
6	演習	マーク問題演習① 記述問題演習② 個別添削 〈 前期中間試験Ⅱ 〉	・演習を通して、総合的な読解力を高める。 ・ <u>添削指導を通して、記述力を高めるとともに、苦手分野を克服する。</u>	予定 7	16
				実施	0
7・8	評論Ⅱ	見田宗介 「鏡の中の現代社会」	・本文の話題に対して関心を持ち、筆者の考えを理解する。 ・論理的な文章の基本的な読み方を習得し、活用する。 ・生涯にわたってものの見方・感じ方・考え方を豊かにしていく態度を養う。		
	9	演習	記述問題演習③ マーク問題演習② 個別添削 〈 前期期末試験 〉	前期末まで	
予定 11				27	
10	演習	記述問題演習④ マーク問題演習③ 個別添削 〈 後期中間試験 〉	・演習を通して、総合的な読解力を高める。 ・ <u>添削指導を通して、記述力を高めるとともに、苦手分野を克服する。</u>	後期中間まで	
				予定 13	40
11				実施	0
12	演習	マーク問題演習④			
1				年度末	
2・3	二次 講習	個別試験対策	・演習を通して、総合的な読解力の完成を目指す。	予定 8	48
				実施	0